

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3140938号
(U3140938)

(45) 発行日 平成20年4月17日 (2008. 4. 17)

(24) 登録日 平成20年3月26日 (2008. 3. 26)

(51) Int.Cl.		F 1
A 4 7 K 10/20	(2006. 01)	A 4 7 K 10/20 Z
A 4 7 K 10/42	(2006. 01)	A 4 7 K 10/42 A

評価書の請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 実願2008-391 (U2008-391)
 (22) 出願日 平成20年1月29日 (2008. 1. 29)

(73) 実用新案権者 308004364
 マツオカ製紙株式会社
 静岡県富士市松岡字船場 1 7 8 8 番地
 (72) 考案者 小林 久敏
 静岡県富士市久沢 1 6 5 1 - 4

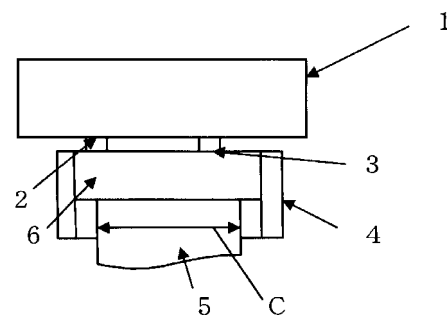
(54) 【考案の名称】 貼着装置付きポップアップトイレティッシュ

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 高齢者、障害者等ハンディのある人に片手で簡単に引き出せ使用勝手に優れた貼着装置付きポップアップトイレティッシュを提供する。

【解決手段】 貼着装置 2, 3 を保護している剥離紙を剥しロール状トイレペーパーホルダー 4 のホルダーカッター 6 の上部に設置し、トイレティッシュ 1 のミシン目を開封し用紙を引き出す。また、使用に適した任意場所に関しても上記と同様に剥離紙を剥し設置する。

【選択図】 図 3



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

ポップアップ式トイレットティッシュの用紙取り出し開口部の反対面に両面テープ等の貼着材を設けることで、汎用的なトイレットロールホルダーのカッター上部、使用しやすい場所、その他任意場所に貼着することができる貼着装置付きポップアップ式トイレットティッシュ。

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

10

【0001】

本考案はビニール等の梱包体にて梱包され二つ折りされ互いに係合している積層トイレットティッシュを引き出し口より一組ずつ取り出せるように、トイレットペーパーロールホルダー装置のカッター上部、使用に適した任意場所に貼着することを可能とする装置に関する。

【背景技術】

【0002】

トイレットペーパーとしては、ロール状に巻き取られた水溶性紙が主流で使用され、そのトイレットペーパーを保持する機器としてトイレットホルダーも広く使用されている。

20

【特許文献 1】登録実用新案 第 3028020 号

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

【0003】

高齢者、障害者等、ハンディを持つ人はロール状のトイレットペーパーを引き出し、切断、折り畳み使用する作業は容易な作業ではない。

【0004】

ロール状のトイレットペーパーを片手で引き出し、切断、折り畳み使用できるホルダー等は数多く提案されているが、既存のホルダーの取替え、改良の必要があり不便である。

30

【0005】

トイレットペーパーホルダーは任意の場所に固定され、使用する人に合わせて移動することが容易にできない。

【0006】

したがって、本考案は特殊なトイレットペーパーホルダーの取替え、改良の手間なしに既存のトイレットペーパーホルダー装置のカッター上部、使用に適した任意場所に設置でき、高齢者、障害者、ハンディ等を持った人にも片手で作業でき使用できる貼着装置付きポップアップトイレットティッシュを提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0007】

課題を解決するために本考案に係る貼着装置付きポップアップトイレットティッシュではポップアップトイレットティッシュの用紙取り出し開口部の反体面に両面テープ等の貼着材を設けることを特徴とする。

40

【考案の効果】

【0008】

本考案の貼着装置付きポップアップトイレットティッシュは、貼着装置により従来のロール状トイレットペーパーのように、高齢者、障害者、ハンディを持った人が使用するのに困難であった状況を解消でき片手で使用することが可能になる。また、専用のホルダーを必要としないため既存のトイレットペーパーホルダーを取替え改良せずに利用ができ、設置場所もトイレットペーパーホルダーのカッター上部に限らず使用に適した任意場所

50

に設置できる。

【考案を実施するための最良の形態】

【0009】

添付図面に従って一実施例を説明する。既存のロール状トイレットペーパーホルダー4は、市販のトイレットペーパー5のサイズに適合しているため、ホルダーカッター6上部に設置する都合上貼着装置2,3の間隔Aは、トイレットペーパー5の幅Cと同等にすることが望ましい。また、上記に示した粘着装置2,3の間隔Bは、使用に適した任意場所に設置することに関しても問題はない。

【実施例】

【0010】

まず、図1の貼着装置2,3を保護している剥離紙を剥し図3のようにロール状トイレットペーパーホルダー4のホルダーカッター6の上部に設置し、図2のトイレットティッシュ1のミシン目を開封し使用する。また、使用に適した任意場所に関しても上記と同様に剥離紙を剥し設置するのみである。

【図面の簡単な説明】

【0011】

【図1】 トイレットティッシュへの貼着装置施工正面図である。

【図2】 トイレットティッシュへの貼着装置施工面の反対側面のトイレットティッシュの開口部を示す図である。

【図3】 ロール状トイレットホルダーへの貼着一実施例を示す図である。

【符号の説明】

【0012】

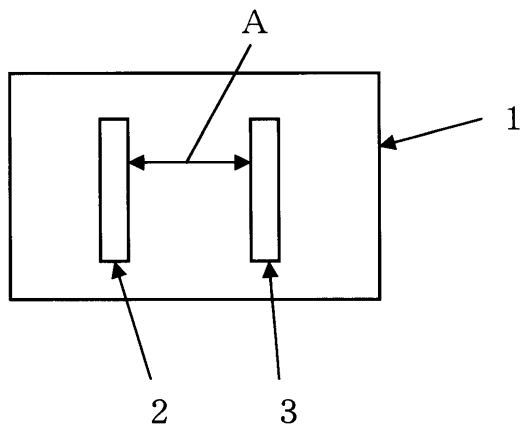
- 1 トイレットティッシュ
- 2 両面テープ
- 3 両面テープ
- 4 ロール状トイレットペーパーホルダー
- 5 ロール状トイレットペーパー
- 6 ロール状トイレットペーパーホルダーカッター
- A 両面テープの間隔
- B ミシン目
- C トイレットペーパーの幅

10

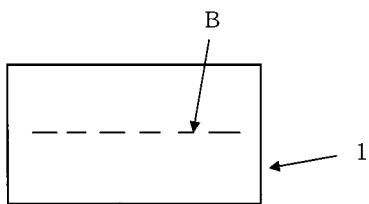
20

30

【図 1】



【図 2】



【図 3】

